

琴平 トピックス



No.10

金曜日の朝は、読み聞かせ

毎週、金曜日の朝の8時から15分間、図書ボランティアの方が読み聞かせを行っています。子どもたちの興味を呼び起こすような本を選んでいただいていますので子どもたちも、しっかりと聞いているようです。

学校でも読書を勧めています。読書習慣を身につけるためには、きっかけが大事です。

- ① 学校の朝の読書で、本を読む習慣をつける。琴平小学校では、月、水、金を読書の時間としている。
- ② 家で読書をする。
- ③ 忙しくて、読書の時間がとれない場合には、「ノー・テレビデー、ノー・ゲームデー」を決めて、家族全員で取り組む時間を作る。
- ④ 「23が60運動」に積極的に取り組む。



小学生のうちに読書する環境をつくるのが大切だと思います。自然に本に親しむ環境を家庭や学校内でつくるのであれば、読書習慣は確立できると思います。

子ども塾は大にぎわい

7月6日(水)の子ども塾は、華道でした。ささゆりやカーネーション、かすみ草など準備していただきました。約80名の子どもたちが参加し、視聴覚室は大にぎわいでした。子どもたちは思い思いにお花を生け、そのできばえに満足そうでした。子どもたちのいきいきと活動している様子に、地域の教育力の強さを感じています。



まちづくり科 あこがれ中学生 なかなかやるな小学生(5, 6年生, 中学1年生) —ことひらのまちをどんなまちにしたいか話し合おう—

7月7日(木), このテーマでまちづくりミーティングを開催しました。琴平中学校の1年生と5, 6年生が9つのグループに分かれて話し合いました。これまでに「まちづくり科」を学習しているので、多くの意見がでました。その自分たちの意見を出し合い、どんなまちにしたいか各グループでまとめ、発表しました。発表は、6年生の役割でした。

観光客がたくさん来るまちにしたいな。

わたしは、自然いっぱいのまちにしたいな。

